

Kuroki Memorial Hospital

きずな

kizuna



NEW SYMBOL

kizuna pickup

今月の
「きずな」写真

黒木記念病院の正面玄関前に「まきの木」が移植された。このまきの木は、樹齢100年を超えた大木で、幹のねじれ具合や全体のバランスがとても美しく、これほど立派なまきの木は九州にも数えるしかないそうだ。もともと職員駐車場にあったものだが、外来駐車場の整備に伴い、「この木をもっと多くの人に楽しんでもらいたい」という黒木（理事長）の想いから今回移植されることとなった。これからの黒木記念病院の新しい顔として、皆さまにも是非楽しんでいただきたい。

目次

Index

- 黒木記念病院 理事長あいさつ 黒木 健次
- おしえてドクター! Dr.永嶋寛 「おしえて大腿骨近位部骨折」
- 患者満足度調査結果報告
- 大分県病院学会報告
- 平成29年度下半期のできごと
- 美味しく食べる健康レシピ 医療安全管理室・苦情相談室



黒木記念病院

理事長・院長

黒木 健次

Kenji Kuroki



「さらなる地域医療への貢献に向けた価値の深化と創造、人を大切にし、成長を続ける組織」を目指して

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

年が明けて数カ月が経ち、もうすぐ新年度が始まろうとしています。平成29年度を振り返りますと、今年度もやはり大きな自然災害が起きました。7月に九州北部豪雨、9月には豊後大野市で台風18号による大規模地滑りが起こりました。自然災害は本当に怖いものです。しかし、熊本・大分地震での経験を活かし迅速な復旧対策の実施と多くのボランティアの協力により速やかに修復することが出来たそうです。日豊本線12月には全線開通しました。心が和む出来事といえば上野動物園のジャイアントパンダ「シャンシャン」が2月1日誕生し連日話題になったことです。すくすく育ち今では体重が20Kg近くもあるそうです。また平成30年は2月には冬季オリンピックが韓国平昌で開催され、過去最多のメダル獲得に日本中が歓喜し、多くの感動を私たちに与えてくれました。

さて、平成30年度は医療・介護の領域では診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報

酬の「トリプル改定」の年です。医療、介護の現場では非常に厳しい年になります。しかしこの改定は、今後2025年にいわゆる団塊の世代がすべて75歳以上の高齢者になり人口の高齢化が急激に進み医療費や介護費が逼迫する中で活力ある社会を実現し、「どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会を作り上げる」ための改革の一歩だと思っています。

そのような中、春日会は平成30年1月に中期経営計画を作成し、「さらなる地域医療への貢献に向けた価値の深化と創造、人を大切にし、成長を続ける組織」というビジョンを掲げました。このビジョンは、これまでの整形外科とリハビリテーションの既存価値を更に高めつつ、まさに時代のニーズである、在宅医療の展開を春日会の新しい価値として捉え、更なる地域医療への貢献は果たすことと、患者様、地域の方々、職員である「人」を大切にし、成長する組織を目指すべき姿として示したものです。

今後も高い理想を追求し切磋琢磨する中で、地域の住民の皆様にも、更に質の高い医療・介護サービスを提供していきたいと思っています。

おしえて 大腿骨近位部 (脚の付け根)骨折！

解説: Dr.永嶋寛

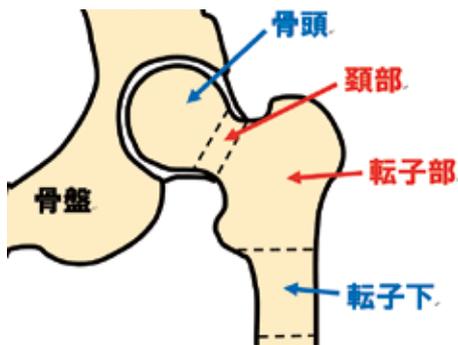
Nagashima Kan

— 整形外科部長 —



今回は、黒木記念病院の手術の中でも最も多い(年間平均100例ほど)大腿骨近位部の骨折について、永嶋寛整形外科部長に聞いてみました！

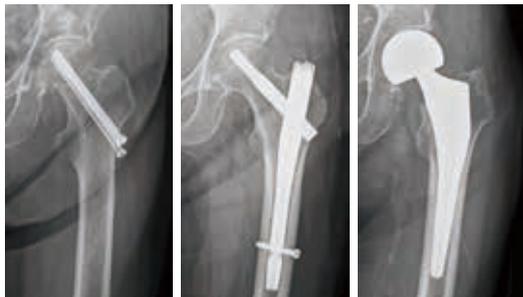
Q. 大腿骨近位部骨折とは、どのような骨折ですか？



A. 脚の付け根(股関節部分)の大腿骨近位部(体に近い方)が転倒などにより骨折することです。骨折する部位で頸部骨折や転子部骨折と呼び方が変わります。

骨が骨粗しょう症でもろくなった高齢者の転倒により起こることがほとんどです。症状としては、強い痛みがあり、立ったり歩いたりすることができません。高齢者が転倒して立ち上がれなくなったときには、まず、この骨折が疑われます。このようなときは一刻も早く整形外科を受診しましょう。男女比は1:4で圧倒的に女性に多いようです。我が国では年間15万人に及ぶと推定されています。

Q. もし骨折をした場合、どのような治療をするんですか？



左から「ピンニング」「SFN」「人工骨頭置換術」

A. 大腿骨の骨折は、痛みで体が動かせなくなるので、著しい体力低下や床ずれ、肺炎、認知症などの合併症の発症率が高くなります。ですので術前検査にて全身状態が手術可能と判断されればできるだけ早期に(24~48時間以内)に手術し早期リハビリテーションを行うことが推奨されています。

手術方法は骨折型や部位で異なります。(左写真参照)

A. 手術後は数日で車いす移乗や荷重を調整しながら歩行訓練を開始します。黒木記念病院には回復期リハビリテーション病棟がありますので術後1~2週程度でリハビリテーション病棟に転棟し、より手厚いリハビリテーションを受けていただきます。患者様の受傷前の身体能力にもよりますが術後1~3週程度で杖歩行目指し、2~3か月程度で退院を目指します。当院で手術された方々のみでなく近隣の病院で手術された多くの患者様も術後リハビリテーション目的に当院に数多く紹介入院されています。回復期病棟では医師、看護師、介護士、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなどの様々な職種がチームで在宅復帰目指してサポートを行います。

大腿骨近位部の骨折は今後高齢化社会が進むにつれ益々増えてくると予測されています。予防のためには、転ばない為の体力作り、骨折しない為の強い骨づくりも大切です。

整形外科のことでお困りのことがあれば、黒木記念病院にお気軽にお尋ねください。

平成29年度 入院患者満足度調査結果報告

当院では、平成29年11月に患者満足度調査を実施しました。当院が提供している医療サービスを患者さんがどのように感じているか客感的に把握し、サービス向上を図ることが目的です。ご協力頂きました皆さまにお礼申し上げるとともに、調査結果の概要についてご報告させていただきます。

■ 調査の概要 ■

調査実施日 平成29年 11月1日～11月30日(外来) 11月1日～11月25日(病棟)

回答数 【外来】63枚 【病棟】146枚

■ 集計結果 ■

外来



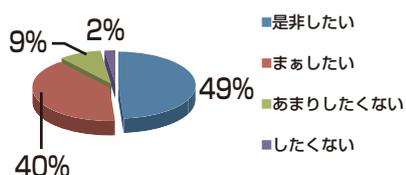
昨年度より24名多く御協力を頂きました①院内の施設面、④職員の接遇、④説明についてとても満足、満足を50%以上頂きました。昨年度と比較すると低い評価となりました。昨年度の皆様の声から駐車場拡張工事で、30台の駐車スペースを確保いたしました。今年度の結果、皆様の声を真摯に受け止め職員一同努力いたします。

入院



昨年度より16名多くご協力を頂きました。全ての設問において、とても満足、満足を50%～90%頂きました。特に③接遇に対し高い評価を頂きました。接遇研修や挨拶運動等の継続的な取り組みが患者様、ご家族様に評価されたと思います。職員一同大きな励みとなりました。⑥技術面が低い評価となりました。ご意見を真摯に受け止め看護技術の向上、医療の質向上に努めてまいります。

知人への紹介



ご協力ありがとうございました
サービス向上委員会

患者満足度調査の結果は、患者様やご家族の方からの貴重なご意見として院内すべてで共有し、今後とも当院の基本理念である「地域に密着した医療法人春日会としての使命」「その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護を行う」「病院職員としての自覚と情熱をもつ」を実践してまいります。

患者・ご家族の皆様には、設備等でご不便をおかけする点もありますが、引き続き安心して医療、看護、介護を受けることができる病院づくりに努めていきますので、ご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。また、日常でもお気づきのことがありましたら「意見箱」「相談窓口」等を通じて、サービス向上へのアドバイスをいただければと思います。



第35回大分県病院学会に 22演題の発表を行いました！

平成29年11月19日に別府B-con Plazaにて第35回大分県病院学会が行われました。大分県病院学会は年に1度大分県病院協会が主催している、参加者2,500人規模の大規模な学会です。

その大分県病院学会で、今回黒木記念病院は過去最多の22演題を発表しました。黒木記念病院では、患者様・利用者様により質の高い、医療・介護サービスの提供ができるよう、近年教育制度の充実も積極的に図って参りました。その一つの成果が今回の発表に繋がったのだと思います。

今後も皆様のご期待に沿えるよう、日々精進してまいります！



発表者全員での集合写真



院内での事前発表風景



実際の発表風景

平成29年大分県病院学会発表者一覧表

No	発表者	職種	タイトル	No	発表者	職種	タイトル
1	伊東 猛雄	医師	嚥下内視鏡検査後の嚥下機能予後・生命予後調査	12	太田 彩	理学療法士	左大脳皮質下出血を呈した70代前半の女性
2	橋本 竜広	看護師	ワセリン塗布を行い保湿にて皮膚損傷リスクの軽減	13	帯刀 雅貴	理学療法士	立ち上がり動作に着目して歩行の介助量軽減が図れた症例
3	阿波野夏子	看護師	「できるADL」を「しているADL」に近づけるために	14	松田真千翔	理学療法士	腸腰筋の遠心性収縮に着目し歩容の改善を認めた一症例
4	芦刈 美恵	看護師	骨折保存治療患者に対しての統一した看護を目指して	15	中堀 実紅	理学療法士	踵骨骨折の一症例を経験して
5	戸次幸太郎	看護師	手術看護の統一にむけた術前訪問チェックリスト作成	16	中村 恭平	作業療法士	脳梗塞により片麻痺を呈した症例への食事姿勢
6	杉本 明佳	看護師	安全な内視鏡検査・治療のための病棟看護へのアプローチ	17	河野 睦美	作業療法士	活動制限を呈された症例に対する掃除動作へのアプローチ
7	西村真由美	看護師	外来通院患者情報の統一化	18	大楠絵梨奈	言語聴覚士	QOLを重視した終末期リハビリテーション
8	藪内 謙一	介護福祉士	回復期病棟における「病棟デイケア」の新設を通して	19	矢川 杏菜	言語聴覚士	間質性肺炎後廃用症候群により嚥下障害を呈した症例
9	渡邊 智也	理学療法士	脳梗塞により片麻痺を呈した患者の歩行	20	森野早央里	社会福祉士	意識を引き出す大切さ
10	衛藤 靖弘	理学療法士	犬と私の日常生活 歩行へのアプローチ	21	八幡美絵子	社会福祉士	患者さんと一緒に生活の再設計を
11	衛藤 緑里	理学療法士	介護療養型病棟で、離床時の楽しみ獲得に向けて	22	野田 和雄	事務	法人車両事故撲滅への取り組み

平成29年度 下半期のできごと

緑タイトル: 春日会内の行事・出来事
オレンジタイトル: 地域のイベント

8月14日 照波園町・平田町合同供養盆踊り大会



町内会のみなさんと共同で開催しています。

9月2日 リーダー研修



リーダーとしての役割について



夜は楽しく!

11月1日 外来駐車場整備



正面玄関前に外来駐車場(30台)を整備しました。

11月23日
黒木記念病院杯 ミニバレーボール大会



市内21チームが参加。楽しく汗を流しました!

12月16日 大忘年会



11月18日～12月20日(全6回)
いきいき健康塾



2年に1度の大忘年会。別府B-Con Plazaにて





美味しく食べる
健康レシピ

第13回

「菜の花と シラスの炒飯」



栄養給食科
科長 管理栄養士

豊嶋知恵美

【材料／2人分】

菜の花	1/2束
ねぎ	10cm
生姜	5g
卵	2個
シラス干	30g
温かいご飯	茶碗軽く2杯
削り節	適宜
ごま油	適宜
薄口醤油	小匙1.5
白こしょう	少々
塩	適宜



【作り方】

- ① 菜の花は1cm幅に切る。ねぎと生姜はみじん切りにする。
- ② 卵は塩一つまみ入れて溶いておく。
- ③ フライパンにごま油大匙1を入れて熱し、②の卵を一気に入れてざっと混ぜ、半熟状態でいったん取り出す。
- ④ ごま油小匙1を足し、菜の花と塩一つまみを入れて炒め、ある程度火が通ったらご飯、ねぎ、生姜を入れて炒める。さらに卵を加えて炒め合わせ、こしょうと薄口醤油を加えて味見をして足りなければ塩を足す。
- ⑤ 皿に盛り、白す干と削り節をのせる。

1人分：〈エネルギー414kcal 塩分1.7g〉

くろこの豆知識

春が近づくと、店頭の野菜や魚の売り場には旬の食材が並び、とてにぎやかになります。

昔から春には苦味を食せといわれますが、これは苦味で身体が目覚める、または新陳代謝を促すという昔ながらの知恵でもあります。

苦味といえば菜の花。おひたしや和え物はもちろんのこと、油との相性も抜群です。

バターやオリーブオイルを使ったソテーなどにもお勧めです。

医療安全管理室・苦情相談室

当院では、患者様やご家族からの医療安全に関するご相談や苦情、ご意見などに適切に対応するため、「医療安全管理室、苦情相談室」を設置し、**医療安全管理者（看護師）**を配置しております。ご遠慮なくご利用ください。

皆様に安心して診療やケア、介護を受けていただけるようお手伝いさせていただきます。また、いただきましたご意見は病院のサービス向上に役立てていきます。

- ・相談内容については、秘密を厳守しております。
- ・相談されたことにより、不利益を受けることはありません。

◆窓口の設置場所

病院1階（受付右側）医療安全管理室 / 苦情相談室

◆電話番号 0977-67-1211 内線220

◆対応時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時00分



医療安全管理室
苦情相談室
室長 清原 初美

より良い医療安全活動が展開できるよう努めていきたいと思っております。皆さん、質の高い、安全な医療を提供するための安全文化の構築と開かれた組織風土作りを目指していきましょう。よろしくお願ひします。

病院の理念

基本理念

すべての人々の健康を守り、
幸せな生活を支援する
医療法人春日会であること

- 1 地域に密着した医療法人春日会としての使命を果たすべし
- 2 その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護・予防を行うべし
- 3 医療法人春日会職員としての自覚と情熱をもつべし

ご利用案内

受付時間／午前8:30～11:30 午後1:00～4:30

※救急患者は時間外でも受付・診療いたします

診療時間／午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

休診日／休日、日曜日、祝祭日、盆休(8/14・15)

年末年始(12/31～1/3)

※救急患者はこの限りではありません

診療科目

整形外科	内科	神経内科	呼吸器内科
リウマチ科	消化器内科	外科	放射線科
リハビリテーション科	循環器内科	麻酔科(ペインクリニック)	皮膚科

外来診療担当医表

平成28年11月1日～

	内科		総合診療		消化器内科		外科		整形外科		麻酔科 (ペインクリニック)		摂食嚥下外来	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	安部芳武 渡邊泰樹	安部芳武	谷口一男		新垣淑辰		甲斐哲司		野口蒸治 黒木健次	黒木健次	平木達弘			伊東猛雄
火	伊東猛雄 鳥羽聡史	渡邊泰樹	谷口一男		—		甲斐哲司		黒木健次 永嶋寛	永嶋寛	平木達弘			—
水	塚田聡 井上健	井上健	—		新垣淑辰		甲斐哲司		戸澤興治 整形外科外来 (常勤医当番制)	戸澤興治	—			—
木	渡邊泰樹 波津久睦二	鳥羽聡史 塚田聡 (第1再来のみ)	—		新垣淑辰		甲斐哲司		黒木健次 別府医療	永嶋寛	—			—
金	塚田聡	伊東猛雄	谷口一男		第1のみ:新垣淑辰		甲斐哲司	大分大 外科	野口蒸治 永嶋寛	野口蒸治	平木達弘			—
土	九州大学病院別府病院 (循環器・呼吸器/老年病内科)		谷口一男		第3のみ:新垣淑辰				大分大学 医学部	大分大学 医学部	平木達弘	—		—

※皮膚科[別府医療センター]:隔週の土曜日・午前

※整形外科の午後の診療は手術等により診療できない場合がございます。

なるべく午前中に診察いただくか、当日電話にてお問い合わせ下さい。

※摂食嚥下外来は「完全予約制」となります。あらかじめお電話にてご予約をお取りください。

※急患及び手術の場合は、都合によりお待たせすることがございます。

Information

■求人情報 薬剤師・看護師・准看護師募集!

やりがいのある職場です。一緒に働いてみませんか。ご希望の方またはご質問のある方は、下記連絡先へご連絡ください。

TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673

E-mail:info@kuroki-hp.or.jp

入院相談、医療・福祉制度に関するご相談がありましたら
地域医療連携室へ

黒木記念病院 地域医療連携室

連携室 / FAX0977-27-8771 E-mail:renkei@kuroki-hp.or.jp

○水曜日外来担当 / 戸澤興治Dr(整形外科:別府発達医療センター勤務)

○土曜日外来担当 / 整形外科:大分大学医学部整形外科医局

交通案内



附属法人事業

医療法人春日会は、ケアミックス型病院事業を中心に、施設・在宅介護サービスなど幅広く、地域に密着した医療・看護・介護・予防を展開しています。

通所リハビリテーション くろき……………TEL0977-67-1212

総合ケアセンター くろき

居宅介護支援センター くろき……………TEL0977-27-6200

訪問看護ステーション くろき……………TEL0977-66-6928

ヘルパーステーション くろき……………TEL0977-84-7168

看護小規模多機能型居宅介護くろき……………TEL0977-84-7184

デイサービスセンター くろき……………TEL0977-84-7186

障がい者ケアサポートセンター くろき……………TEL0977-27-6767

住宅型有料老人ホーム きずな……………TEL0977-84-7165

特定医療法人社団春日会

黒木記念病院

〒874-0031 大分県別府市照波園町14番28号

TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673

http://www.kuroki-hp.or.jp

総合ケアセンターくろき

〒874-0024 大分県別府市平田町2番2号

TEL0977-84-7165 FAX0977-84-7178

http://care.kuroki-hp.or.jp